

様式3. 日本先天異常学会役員・各種委員の利益相反自己申告書

(算出期間： 1. 1～ 12.31)

(事務局記入欄)	受付番号：
受付日：(西暦)	年 月 日

日本先天異常学会 理事長 殿

申告者氏名：

所属(機関・部局)名：

本会での役職名：

本会所属委員会名：

委員会委員

A. 申告者自身の申告事項

①企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 (1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載)
	企業・団体名： 役割(役員・顧問等)： 報酬額：
②株の保有と、その株式から得られる利益(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業ごとに記載)
	企業名： 持ち株数： 申告時の株価(一株あたり)： 最近1年間の本株式による利益：
③企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を特許ごとに記載)
	企業・団体名： 特許名： 特許権使用料：
④企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(講演料など)(1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業・資金提供者ごとに記載)
	企業・団体名： 講演料等の金額：
⑤企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料(1つの企業・団体からの原稿料が年間合計50万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業・資金提供者ごとに記載)
	企業・団体名： 原稿料の金額：
⑥企業や営利を目的とした団体が提供する研究費及び寄付講座(1つの企業や団体から支払われた総額が年間100万円以上のものを記載) ※奨学寄付金については申告者個人、申告者の所属する部局、あるいは代表者に支払われた総額が年間100万円以上の場合は記載	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を研究ごとに記載)
	企業・団体名： 研究名： 研究費： 申告者が受け取る対価：
⑦その他の報酬(研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など) (1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載)
	企業・団体名： 報酬内容： 報酬額：

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本先天異常学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は、社会的・道義的な観点から要請があった場合は、公開することを承認します。

申告者署名

申告日(西暦)

年

月

日